

「いわて男女共同参画プラン」の主な指標の進捗状況について

主な指標の平成 30 年度の進捗状況

対象指標：26（主要指標は 24 であるが、細分化されたものを含む）

I 東日本大震災津波からの復興と防災における男女共同参画の推進

- (1) 男女共同参画視点からの復興に関する研修受講者数は、目標を達成した。
- (2) 女性の委員が参画する市町村防災会議の割合は 81.8%と平成 27 年度から進展しておらず、目標に達していない。

II 女性の活躍支援

- (1) 男女いずれか一方の委員の数が委員総数の 40%未満にならない審議会等の割合は 61.3%で、前年度より 1.4 ポイント減少し、目標値を下回った。
- (2) 県職員管理監督者（係長相当職以上）に占める女性の割合は 18.6%で、前年度より 0.9 ポイント上昇したが、目標値の 19.4%を若干下回った。
- (3) 教職員の管理職に占める女性の割合は 15.8%で、前年度より 0.8 ポイント上昇したが、目標には達していない。
- (4) いわて子育てにやさしい企業の延べ認証数は累計で 113 社と目標値を上回った。
- (5) 職場において男女が平等と感じている人の割合は 25.9%で、前回調査から 2 ポイント上昇したが、目標値を下回った。
- (6) 家族経営協定締結農家数は、前年度より 32 戸増加したが、目標の 1,940 戸を若干下回った。

III 男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備

- (1) 男性の男女共同参画サポーター認定者数は、18 人増加し目標を達成した。また、男性サポーターがいる市町村の割合は前年度より 9.1 ポイント上昇し、目標を上回った。
- (2) 共働き世帯における女性の家事時間に対する男性の家事時間の割合は 40.8%で、29 年度より 6.6 ポイント上昇し、目標値を上回った。
- (3) 社会慣習の中で男女の不平等を感じる割合については、前回調査より 0.8 ポイント上昇し 73.9%となり、目標に達しなかった。

IV 女性に対する暴力の根絶と女性の健康支援

- (1) DV相談員研修の参加者数は、67 人と目標値の 50 人を上回った。
- (2) 自治体の相談支援センター、警察で相談や被害者保護を行っていることを知っている人の割合は 42.5%で、前回調査より 1 ポイント減少し、目標値を下回った。
- (3) メディア対応能力養成講座参加者数（累計）は、1,343 人と目標の 1,170 人を上回った。

1 「いわて男女共同参画プラン」主要指標の進捗状況

(1) 【主要指標】評価結果一覧（平成30年度）

※30年度の進捗状況（評価対象指標は26。主要指標は24であるが細分化したものを含む。）

A（達成度100.0以上）	11（42.3%）
B（達成度80.0～100.0未満）	8（30.8%）
C（達成度80.0未満又は伸び率100.0未満）	7（26.9%）
評価不能（H30年度実績値なし）	0（0%）

対26年度
基準値
(伸び率)対29年度
目標値
(達成度)

到達度による評価

I 東日本大震災津波からの復興と防災における男女共同参画の推進

	指標名	単位	基準値	実績値	30年度 目標値 (c)	到達度		総合 評価
			H26 (a)	H30 (b)		b/a	b/c	
1	男女共同参画視点からの復興に関する研修受講者数（累計）	人	0	156	150	-	104.0%	A
2	女性委員が参画する市町村防災会議の割合	%	H27 69.7	H30 81.8	87.9	117.4%	93.1%	B

II 女性の活躍支援

	指標名	単位	基準値	実績値	30年度 目標値 (c)	到達度		総合 評価
			H26 (a)	H30 (b)		b/a	b/c	
3	男女いずれか一方の委員の数が委員総数の40%未満にならない審議会等の割合	%	60.3	61.3	73.4	101.7%	83.5%	B
4	県職員管理監督者に占める女性の割合（係長相当職以上）	%	14.1	18.6	19.4	131.9%	95.9%	B
5	教職員の管理職に占める女性の割合	%	17.7	15.8	20.5	89.3%	77.1%	C
6	ロールモデル提供事業参加者数（累計）	人	20	277	200	1385.0%	138.5%	A
7	離職者等を対象とした職業訓練における女性の受講者数	人	991	865	1,100	87.3%	78.6%	C
8	女性活躍のための経営者研修出席者数（累計）	人	50	840	250	1680.0%	336.0%	A
9	いわて子育てにやさしい企業の延べ認証数（累計）	社	23	113	35	491.3%	322.9%	A
10	男性のためのワーク・ライフ・バランスセミナー出席者数（累計）	人	0	1,661	200	-	830.5%	A
11	職場において男女が平等と感じている人の割合	%	H27 23.9	25.9	27.5	108.4%	94.2%	B
12	家族経営協定締結農家数（累計）	戸	1,777	1,937	1,940	109.0%	99.8%	B
13	農業農村指導士に占める女性の割合	%	17.6	7.7	30.0	43.8%	25.7%	C
14	女性の漁業士数（累計）	人	10	5	14	50.0%	35.7%	C

Ⅲ 男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備

	指標名	単位	基準値	実績値	30年度 目標値 (c)	到達度		総合 評価
			H26 (a)	H30 (b)		b/a	b/c	
15	男女共同参画社会基本法の名称又は内容を知っている人の割合	%	H27 59.9	63.0	77.9	105.2%	80.9%	B
16	男性の男女共同参画サポーター認定者数（累計）	人	H27 100	150	135	150.0%	111.1%	A
	（男性のサポーターがいる市町村の割合）	%	H27 66.7	90.9	86.6	136.3%	105.0%	A
17	生涯学習情報提供システム利用件数	件	23,710	76,043	28,450	320.7%	267.3%	A
18	社会慣習の中での不平等感の割合 [↓（低減する）指標]	%	H27 73.1	73.9	65.3	101.1%	113.2%	B
19	共働き世帯における女性の家事時間に対する男性の家事時間の割合	%	34.4	40.8	38.1	118.6%	107.1%	A

Ⅳ 女性に対する暴力の根絶と女性の健康支援

	指標名	単位	基準値	実績値	30年度 目標値 (c)	到達度		総合 評価
			H26 (a)	H30 (b)		b/a	b/c	
20	DV防止法の名称又は内容を知っている人の割合	%	H27 76.5	79.3	84.6	103.7%	93.7%	B
21	自治体の相談支援センター、警察で相談や被害者保護を行っていることを知っている人の割合	%	H27 43.5	42.5	65.4	97.7%	65.0%	C
22	DV相談員研修参加者数	人	H27 51	67	50	131.4%	134.0%	A
23	メディア対応能力養成講座参加者数（累計）	人	689	1,343	1,170	194.9%	114.8%	A
24	子宮（頸）がん検診及び乳がん検診受診率	%	H22 子宮（頸）がん 25.6	30.3	50.0	118.4%	60.6%	C
		%	乳がん 26.0	32.0	50.0	123.1%	64.0%	C

(2) 平成30年度における主要指標に係る評価と今後の対応

施策の 体系	指標名	単位	基準値	実績	目標		判定	担当課評価と今後の対応 (実績値がない場合は、その理由)
			26年度	30年度	30年度	32年度		
Ⅰ 東日本大震災津波からの復興と防災に おける男女共同参画の推進	1 男女共同参画視点からの復興に関する研修受講者数(累計) 若者女性協働推進室	人	0	156	150	250	高	平成30年度から岩手県男女共同参画センター委託事業となったが、前年度から引き続き地域ニーズに合わせた研修内容とすることで、目標の受講者数を達成できた。今後も会場地となる市町村の要望に応じた研修内容となるように努め、引き続き開催していく。
	2 女性委員が参画する市町村防災会議の割合 総合防災室	%	H27 69.7	81.8	87.9	100.0	低	平成30年度は女性委員が参画した市町村数が増加しなかったため、目標値を下回ったが、女性委員数は増加傾向にあり、104人となっている。 委員は宛職が多く、女性が任命されていないため、参画も進まない状況にあるが、宛職以外の委員については、全ての市町村において女性委員の参画が図られるよう、市町村消防防災主管課長会議等において、引き続き働きかけを行っていく。
Ⅱ 女性の活躍支援	3 男女いずれか一方の委員の数が委員総数の40%未満にならない審議会等の割合 若者女性協働推進室	%	60.3	61.3	73.4	80.0	中	男女いずれかの委員の数が委員総数の40%未満にならない審議会は75審議会のうち46審議会となった。 前年度より1ポイント減少したことから、充て職の見直し、公募制の検討、団体推薦にあつては代表に限らない幅広い人選を依頼するなど、今後も男女のバランスを考慮した委員登用について各部局に働きかけていく。
	4 県職員管理監督者に占める女性の割合 人事課	%	14.1	18.6	19.4	22.0	中	平成30年度は、目標を0.8ポイント下回ったが、割合は毎年度増加を続けている。今後も、マネジメントや政策形成過程へのより一層の女性の参画を推進していく。
	5 教職員の管理職に占める女性の割合 教職員課	%	17.7	15.8	20.5	22.5	低	女性管理職員の定年退職に見合った数の新たな任用が少なかったため、目標を下回る結果となった。募集要項等において、女性の管理職任用に向けた人材育成を積極的に進める旨の記述を入れる等の取組を行っているほか、校長、副校長試験の女性による受験者を増やすよう各種会議での説明や各所属長への働きかけを行っている。小中学校管理職において女性職員の割合が年々増加しており、これらの取組をさらに強化し、継続していく。
	6 ロールモデル提供事業参加者数(累計) 若者女性協働推進室	人	20	277	200	290	高	平成30年度は、若手社員向けに3回実施し、将来において目指したいと思うモデルを示した。 今後も女性自身がキャリアアップするために必要なスキルを学ぶことにより、女性が活躍できる社会の形成に向け、参加者を増やしていく。
	7 離職者等を対象とした職業訓練における女性の受講者数 定住推進・雇用労働室	人	991	865	1,100	1,100	低	平成30年度は、有効求人倍率が1倍を超える状況にあり、訓練を経ずに就職する求職者が多かったため、目標を下回ったが、男性を含めた全受講者に占める女性の割合は7割を超えている。今後も引き続き、女性の訓練ニーズを適切に捉えた訓練を実施するとともに、託児サービス付き訓練コース、育児や介護に配慮した短時間の訓練コース、母子家庭の母等を対象とした訓練コース等、女性に配慮した訓練の実施に努める。
	8 女性活躍のための経営者研修出席者数(累計) 若者女性協働推進室	人	50	840	250	350	高	女性の活躍のためには、企業・団体のトップが率先して取り組むことが重要であり、経営者や管理職のワーク・ライフ・バランスや女性登用についての理解促進を図る必要があることから、出席者を増やしていく。

(2) 平成30年度における主要指標に係る評価と今後の対応

施策の 体系	指標名	単位	基準値	実績	目標		判定	担当課評価と今後の対応 (実績値がない場合は、その理由)
			26年度	30年度	30年度	32年度		
	9 いわて子育てにやさしい企業の延べ認証数(累計) 子ども子育て支援課	社	23	113	35	41	高	一般事業主行動計画を策定した県内企業等への働きかけなどを行ったことにより目標を達成した。 今後も、さらなる普及啓発に努め、認証数の拡大を目指していく。
	10 男性のためのワーク・ライフ・バランスセミナー出席者数(累計) 若者女性協働推進室	人	0	1661	200	300	高	女性活躍と働き方改革への関心の高まりとともに、ワーク・ライフ・バランスセミナー受講希望者が増加しているため、目標を達成した。 女性活躍を推進していくためには、男性も含めた働き方の見直しを図る必要があることから、今後も取組を継続していく。
	11 職場において男女が平等と感じている人の割合 若者女性協働推進室	%	H27 23.9	25.9	27.5	30	中	前回意識調査を行った平成27年度に比べ2ポイント増加となったが、目標値を下回っている。今後も、6月の男女共同参画推進月間における街頭啓発活動や男女共同参画フェスティバルの開催、ホームページ等による普及啓発活動を一層進めていく。
	12 家族経営協定締結農家数(累計) 農業普及技術課	戸	1,777	1,937	1,940	2,040	中	家族経営協定については、担い手育成や農業経営の改善を図る手法として、単年度計画の作成とあわせて、農業委員会、市町村農政担当課、農業改良普及センター等、関係機関が一体となって推進している。 今後も、家族経営協定の新規締結促進に向け、認定農業者の単年度計画策定とあわせて推進していく。
	13 新規認定に係る農業農村指導士に占める女性の割合 農業普及技術課	%	17.6	7.7	30.0	30.0	低	平成30年度の農業農村指導士の新規認定数は13人、内女性は1人と少ない状況である。 今後は、女性の積極的な認定に向けて、関係機関と連携し、地域の活性化に積極的に取り組んでいる女性農業者の発掘に努めるとともに、家族経営協定の締結推進により、女性の経営参画を進め、新たなリーダーとなる女性農業者の育成を図る。
	14 女性の漁業士数 水産振興課	人	10	5	14	16	低	平成26年以降、女性漁業士を1人新規認定したが、6人が任期満了に伴い退任しており、目標値には届かない。 水産業普及指導員や現役漁業士を通じて、候補者の掘り起こしをしているが、候補者が少ない上、家庭の事情等により推薦を見送るなどされ、新しく認定できていないことが要因である。 引き続き、漁業士制度や女性漁業士の役割について周知を図りながら、新しい女性漁業士の確保に努める。

(2) 平成30年度における主要指標に係る評価と今後の対応

施策体系	指標名	単位	基準値	実績	目標		判定	担当課評価と今後の対応 (実績値がない場合は、その理由)
			26年度	30年度	30年度	32年度		
Ⅲ 男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備	15 男女共同参画社会基本法の名称又は内容を知っている人の割合 若者女性協働推進室	%	H27 59.9	63	77.9	90.0	中	前回意識調査を行った平成27年度に比べ3.1ポイント増加となったが、目標値を下回っている。今後も、6月の男女共同参画推進月間における街頭啓発活動や男女共同参画フェスティバルの開催、ホームページ等による普及啓発活動を一層進めていく。
	16 男性の男女共同参画サポーター認定者数(累計) 若者女性協働推進室	人	H27 100	150	135	155	高	平成30年度は新たに18名の男性が男女共同参画サポーターに認定され、目標値を達成することができた。引き続き、市町村に対して男性サポーターが増えるよう働きかけを行っていく。
	(男性のサポーターがいる市町村の割合) 若者女性協働推進室	%	H27 66.7	90.9	86.6	100.0	高	平成30年度に新たに洋野町、野田村、九戸村から男性のサポーター認定者がでたことから、目標を達成した。引き続き、市町村に対して男性サポーターが増えるよう働きかけを行っていく。
Ⅲ 男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備	17 生涯学習情報提供システム利用件数 生涯学習文化財課	件	23,710	76,043	28,450	30,820	高	広くシステムが認知されていること、及び各種研修会等において継続して周知を図っていることなどにより、目標値を大きく上回った。 今後も、「いつでも・どこでも・だれでも」生涯を通じて学び続けられる環境づくりのため、市町村と連携を図りながら、県立生涯学習推進センター等による、情報通信技術(ICT)を活用した学びの機会や活躍の場等に関する情報の集積・提供など、学習情報提供の仕組みの一層の充実に努める。
	18 社会慣習の中での男女の不平等感の割合 [↓(低減する)指標] 若者女性協働推進室	%	H27 73.1	73.9	65.3	60.0 以下	低	前回意識調査を行った平成27年度に比べ0.8ポイント増加し、目標値を達成できなかった。今後も、6月の男女共同参画推進月間における街頭啓発活動や男女共同参画フェスティバルの開催、ホームページ等による普及啓発活動を一層進めていく。
	19 共働き世帯における女性の家事時間に対する男性の家事時間の割合 若者女性協働推進室	%	34.4	40.8	38.1	40.0	高	前回調査から6.6ポイント増となった。夫婦の家事時間は夫が28分、妻が22分増加した。 岩手県男女共同参画センターのワーク・ライフ・バランスの出前講座など、引き続き男性の家事参加についての普及啓発を行うとともに、経営者セミナー等により、経営者や管理者のワーク・ライフ・バランスへの理解促進を図っていく。

(2) 平成30年度における主要指標に係る評価と今後の対応

施策の体系	指標名	単位	基準値	実績	目標		判定	担当課評価と今後の対応 (実績値がない場合は、その理由)
			26年度	30年度	30年度	32年度		
IV 女性に対する暴力の根絶と女性の健康支援	20 DV防止法の名称又は内容を知っている人の割合 若者女性協働推進室	%	H27 76.5	79.3	84.6	90	中	11月の「女性に対する暴力をなくす運動」の機会を捉え、県警音楽隊と連携した街頭啓発や啓発物品・リーフレット等の配布、一般県民向けのセミナー等を重点的に実施し、前回調査より2.8ポイント増加したが、目標値には達しなかった。啓発運動の内容や啓発物品の配布方法等を工夫して、DV防止法の認知度向上を図るとともに、暴力をゆるさない社会づくりを進めていく。
	21 自治体の相談支援センター、警察で相談や被害者保護を行っていることを知っている人の割合 若者女性協働推進室	%	43.5	42.5	65.4	80.0	低	県警音楽隊と連携した街頭啓発やリーフレットの配布、一般県民向けのセミナー実施等により、相談窓口の周知を図ったが、認知度を上昇させることができなかった。リーフレットの配布数や配置箇所を増やしたり、携帯しやすいカード型のものにするなど、手に取ってもらえるような工夫を行うとともに、街頭啓発やセミナー参加者の増加に取組み、相談窓口の周知を図りたい。
	22 DV相談員研修参加者数 若者女性協働推進室	人	H27 51	67	50	50	高	配偶者暴力相談支援センターのほか、各市町村の婦人保護担当、関係する民間団体等に対し広く参加者を集めた結果、目標値を達成した。 今後も参加者のニーズを把握して研修内容の充実を図るなど、相談者のスキルアップを図りたい。
	23 メディア対応能力養成講座参加者数(累計) 若者女性協働推進室	人	689	1,343	1,170	1,410	高	開催市町村や警察署等と連携することにより目標を達成した。青少年の健全育成において必要不可欠な分野であり、地域における情報メディア対応の取組実態を把握したうえで、研修講座メニューの充実を図るなど、保護者や青少年の指導的立場にある方の積極的な参加を促していく。
	24 子宮(頸)がん検診及び乳がん検診受診率 健康国保課	%	H22 子宮(頸)がん: 25.6 乳がん 26	H28 30.3 32.0	50.0 50.0	50.0 50.0	低 低	基準値からは向上しているが、目標値には達しなかった。 がん検診の重要性などの普及啓発や受診勧奨の強化を図るとともに、受診しやすい環境の整備を進める。

(3)平成30年度における参考指標の実績

【参考指標】

施策の 体系	指標名	単位	基準値		実績	
			26年度		30年度	
Ⅰ 東日本大震災津波からの復興と 防災における男女共同参画の推進	S1 沿岸部市町村の審議会等における女性委員割合 若者女性協働推進室	%	23.2		22.8	
	S2 女性消防団員がいる消防団の割合 総合防災室	%	87.9		100.0	
Ⅱ 女性の活躍支援	S3 男女いずれか一方の委員の数が委員総数の40%未満にならない審議会等の割合(9審議会等を含む。)	%	53.2		53.5	
	S4 スポーツ推進委員女性比率 スポーツ振興課	%	30.4		29.8	
	S5 スポーツ指導者・スポーツボランティア女性比率 スポーツ振興課	%	20.6		23.1	
	S6 農協女性理事の登用 農業普及技術課	人	13		19	
	S7 女性農業委員の登用状況 農業普及技術課	%	10.4		19.2	
	S8 女性の再就職率 定住推進・雇用労働室	%	42.2		45.6	
	S9 年間総労働時間数 定住推進・雇用労働室	時間	1,896		1,841 (5人以上)	
	S10 育児休業取得率(男性、女性) 定住推進・雇用労働室	%	男性 1.4		男性 2.7 女性 84.3	
	S11 保育を必要とする子どもに係る利用定員 子ども子育て支援課	人	26,425		31,302	
	S12 保育所等利用待機児童数 子ども子育て支援課	人	193		145	
	S13 放課後児童クラブの設置数(累計) 子ども子育て支援課	カ所	306		351	
	S14 所定内給与額の男女間格差 定住推進・雇用労働室	ポイント	75.5		81.0	
	S15 農村女性の起業家数(個人及びグループへの参画)(累計) 農業普及技術課	経営体	452		420	
	S16 女性の指導林家数 森林整備課	人	1		1	

施策の 体系	指標名(参考指標)	単位	基準値		実績	
			26年度		30年度	
Ⅲ 男女共同参画社会の実現に向けた基盤の整備	S17 男女共同参画フェスティバルの参加者に占める男性の割合 若者女性協働推進室	%	14.6		14.9	
	S18 生涯学習を支援するボランティア等を対象とした研修会の実施回数 生涯学習文化財課	回	15		19	
	S19 社会慣習の中で不平等感の割合(年代別) 若者女性協働推進室	%	H27 20歳代: 68.3 30歳代: 78.5 40歳代: 73.8 50歳代: 80.0 60歳代: 76.5 70歳以上: 59.5		20歳代: 57.4 30歳代: 68.1 40歳代: 79.1 50歳代: 79.0 60歳代: 84.4 70歳以上: 67.4	
	S20 居宅介護・地域密着型サービス利用割合 長寿社会課	%	61.5		61.9	
	S21 障がい者グループホーム等利用者数 障がい保健福祉課	人	1,672		1,873	
	S22 自治会長に占める女性の割合 若者女性協働推進室	%	3.2		4.0	
	S23 PTA会長に占める女性の割合 生涯学習文化財課	%	9.1		12.4	
	S24 DV防止基礎セミナー受講者数 若者女性協働推進室	人	66		46	
	S25 メディアにおける性・暴力表現について特に問題はないと考える人の割合 若者女性協働推進室	%	7.3		8.9	
	S26 健康教育講座等実施回数 子ども子育て支援課	回	69		60	
Ⅳ 女性に対する暴力の根絶と女性の健康支援	S27 周産期死亡率(対象者1000人当たり) 子ども子育て支援課	人	5.2		4.2	
	S28 乳児死亡率(出生千人当たり) 子ども子育て支援課	人	1.9		3.0	